

埼玉県議会議員

すがわら ふみ 文仁 ひと

無所属
42歳

顔が見える政治家であり続けます

「本人」のタスキをつけて始めた駅立ちは、1,000日を超えました。これからも何でも話せる身近な政治家を目指してまいります。また駅でお会いしましょう!!

政治をわかりやすく伝え続けます

お配りしてきた議会レポートは、延べ200万枚を超えました。これからも、議会のことや私の考えていることを、わかりやすく伝えていきます。

クリーンで開かれた政治を続けます

ホームページなどで収支報告書や、365日の一行日記を公開し、活動の見える化に取り組んできました。これからも、公正でまじめな活動を徹底します!

しがらみにとらわれない政治を続けます

市民目線のバランス感覚を失うことなく、県民にとって今すべきことは何かを考えてひたむきに活動してきました。今後も、不偏不党の立場を貫きます。

無所属県民会議 県政報告 特別号

24時間つながる 小児救急電話相談



小児救急電話相談が深夜は時間外となっていたために、夜中に子供が病気やケガで困った時に相談する体制がありませんでした。そこで、核家族率が高い埼玉県だからこそ深夜も相談できるようにすべきと提案した結果、24時間体制に改善され、利用者数も全国トップとなりました。

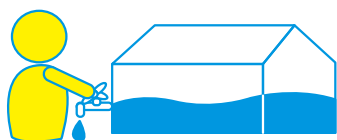


24時間
支えます

水道料金値下げで 事業者を元気に



工業用水道で、多くの企業が使用水量と見合わない料金を支払っていることが判明しました。そこで、節水しても料金が変わらない制度を見直し、企業努力に応える制度にすべきと提案した結果、最終的に全体の約5%、約4割の事業者の料金を値下げすることを実現しました。

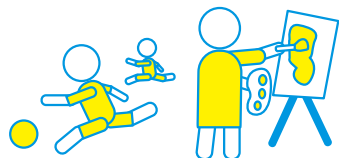


企業努力に
応える制度へ

部活の環境向上で 充実の高校生活へ



県立高校の部活動の備品や指導環境が不足している現状を学校視察により見つけました。備品を総点検して適切な予算配分を求めた結果、部活動の指導充実に関わる予算が新たに措置されるとともに、指導者や備品が確保される仕組みができました。

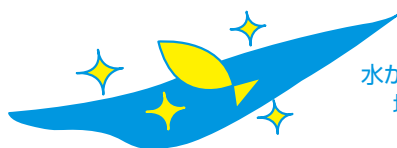


部活で
元気!

浄化槽の管理で 川の水をキレイに



全国ワースト1位と2位の河川が埼玉県にあるという事実を知り、河川の水質悪化の原因は浄化槽の管理不足にあることを突き止めました。そこで、法定検査の実施率を高めるよう指摘した結果、実施件数が大幅に向上、県内の浄化槽管理状況改善のムーブメントにつながりました。



水がキレイな
埼玉へ

議員特権の廃止へ 交通費実費化を提案



議員の費用弁償(交通費)は距離に応じて6千円～約1万円が定額で支給されています。たとえ県庁の隣に住んでいても定額支給されるという、世間の常識とかけ離れた現在の制度を改め、実費で支給する制度を提案しました。県政改革の先駆者として、諦めずに挑戦を続けています。



議員の交通費
実費支給に

殺処分ゼロをめざす 野良猫対策を支援



動物の殺処分の8割は猫で、そのうち約9割が子猫といわれています。殺処分ゼロをめざし、野良猫の不妊・去勢手術を推進する県内市町村への支援体制の強化を提言しました。その結果、手術費用の助成制度が実施され、地域猫(TNR)活動がしやすい環境が整いました。



小さいのち
大きな課題

公務員の残業減で 税金のムダ削減へ



教育委員会職員の残業代が年間513万円も支給されていることを調査を通じて発見しました。労務管理上の問題もあることから、一部の職員に業務が偏らないよう改革を求めた結果、次年度以降の時間外勤務手当の時間と金額が削減されるという成果が生まれました。

時間と金額が
削減



すがわら文仁 これまでの 成果

「声をカタチに」という、政治にしかできないことがたくさんあります。私は、これらの政策実現の積み重ねによって、安心して暮らせる地域、将来に希望が持てる社会づくりに、これからも全身全霊で取り組んでまいります。

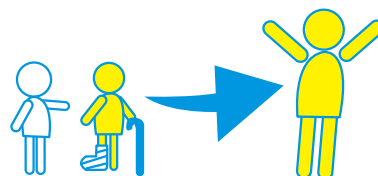


リハビリ医療充実で 社会復帰しやすく



病気やケガからの社会復帰の重要性が高まるなか、埼玉県のリハビリ医療への支援体制が乏しいことを探り当てました。支援の強化を提案した結果、県内10か所の医療圏域全てにリハビリテーション・ケアサポートセンターが設置され、介護予防や地域医療の連携が進んでいます。

社会復帰
支えます



医師不足の解消へ 医大付属病院を誘致



埼玉県の人口当たりの医師数は全国ワースト1位であり、医師不足対策は最重要課題です。そこで、医師養成機関として私立医科大学を県内に誘致することを提案した結果、2020年度を目途に順天堂大学の附属大学病院とともに医学部大学院の設置が具体化されました。

最先端
医療都市へ



スポーツで元気に! JOCパートナー締結

日本オリンピック委員会



東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興には長期的な体制作りが重要です。日本オリンピック委員会（JOC）とのパートナー都市協定を結ぶことを提案した結果、締結が実現しました。キャンプ誘致やトップアスリートの強化支援への取組みが進んでいます。

スポーツで
交流 & 健康

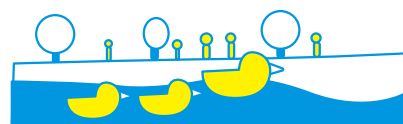


水辺を散策できる 自然豊かな笹目川へ



笹目川の下流部は無機質なコンクリート護岸でした。北戸田駅周辺の開発に合わせ、自然豊かな河川整備を県に提案した結果、笹目川が「川のまるごと再生プロジェクト」として選定されました。4年間をかけて遊歩道や広場が整備され、水辺に親しめる憩いの場所に生まれ変わりました。

ザリガニや
カエルもいる





蔡英文台湾總統



笹目川活用イベント



熊谷ドーム被災視察



常総市災害ボランティア



市内神輿渡御



保育園視察

政 治の最大の目的は、人々の命と生活を守り希望や幸せを叶えることです。そして政治家の使命とは責任感に基づく情熱と冷静な判断力をもって、すべての人々の幸せを実現するために全力を尽くすことにほかなりません。

子 供たちが将来に夢を抱き、若い世代が希望と活力に溢れ、高齢者が元気で安心して暮らせる埼玉県をつくるため、たくさんの現場を歩いて2期6年。今、皆様の声と私の想いを込めた提案の数々は少しずつ成果として表れています。

戸 田から埼玉に、そして埼玉から戸田を発展させたいと願って取り組んだ県政改革を「特別号」としてわかりやすくまとめました。何卒ご高覧の上、忌憚のないご意見をお寄せいただきますよう、お願いいたします。

埼玉県議会議員 **菅原文仁**



地域福祉まつり



上田知事意見交換



タンDEM自転車試乗



埼玉県防災ヘリ視察



市民体育祭



無所属県民会議



明治大学講師



越谷市竜巻被災



摩文仁の丘埼玉県慰霊塔



戸田マラソン

すが わら ふみ ひと

菅原文仁 プロフィール

【略歴】 昭和50年7月30日生まれ(42歳) 戸田市立美谷本小学校・美筈中学校卒 県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社代表「地盤・看板・カバン」なして政治に挑戦 平成17年~23年 戸田市議(2期) 平成23年~ 埼玉県議会議員(2期) 会派「無所属県民会議」総務会長 警察危機管理防災委員 経済・雇用対策特別委員 東京経営短期大学客員教授 青年地方議員の会会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会副会長 防災士

【趣味】 読書・史跡巡り・B級グルメ探し **【座右の銘】** 上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 **【特技】** バク転・のび太並みの早寝 **【夢】** 努力した者が報われる社会を実現すること

【家族】 父・母・妻・娘・息子・愛犬 **【自宅】** 戸田市美女木8-21-6

発行 無所属県民会議戸田支部(菅原文仁)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F

TEL/FAX 048-432-3585

ホームページ sugawarafumihito.com  

Email mail@sugawarafumihito.com